

国道16号保土ヶ谷バイパス(Ⅱ期) 町田立体の本線部開通について

国土交通省関東地方整備局 川崎国道事務所

1. 事業概要

国道16号保土ヶ谷バイパス(Ⅱ期)町田立体は、国道16号が国道246号と交差する東名入口交差点付近を立体化し、東名高速や横浜新道等の幹線道路との連絡強化、交通渋滞緩和、沿道環境の改善を図る等、円滑な道路交通網の形成を目的とした、東京都町田市鶴間地先における延長2.1kmの道路事業です。

本事業は平成28年4月24日に本線部が開通しました。本稿では、事業の概要と開通後の状況、整備効果等について紹介します。

2. 計画概要

箇所	東京都町田市鶴間
延長	2.1km
幅員	21.0m
道路規格	第1種第3級
設計速度	80km/h
車線数	4車線

位置図



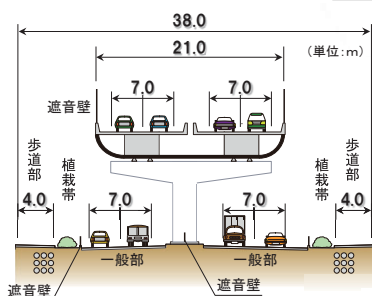
至 八王子

東急田園都市線

至 渋谷
国道246号

完成イメージ

横断面図



至 厚木
東名入口交差点
市道南861号
(旧246号)

横浜町田IC

東名高速道路

至 横浜

3. 国道 16 号の現状

国道 16 号町田立体事業区間の渋滞損失時間は約 608.0 千人時間 / 年・km となっており、特に東名入口区間の渋滞損失時間は 1370.1 千人時間 / 年・km となっています。南町田北交差点及び東名入口交差点は、「首都圏渋滞ボトルネック対策協議会」により、主要渋滞箇所と特定されています。

東名入口交差点は、交差する国道 16 号と国道 246 号が共に 1 日約 5 万台の交通が集中する箇所となっています。

また、国道 16 号の当該区間の平均死傷事故率は、101.0 件 / 億台・km となっており、特に、東名入口区間の死傷事故率は、183.1 件 / 億台・km となっています。

死傷事故の内訳は、追突事故が約 7 割であり、東名入口交差点付近を中心に発生しています。

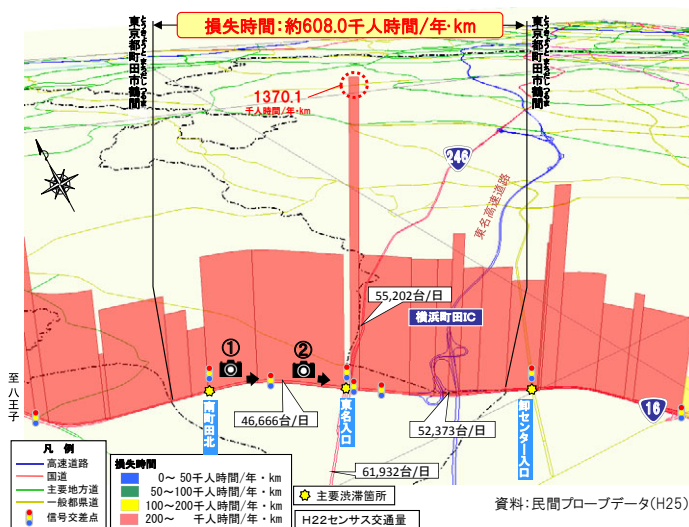


図-1 国道 16 号の渋滞状況

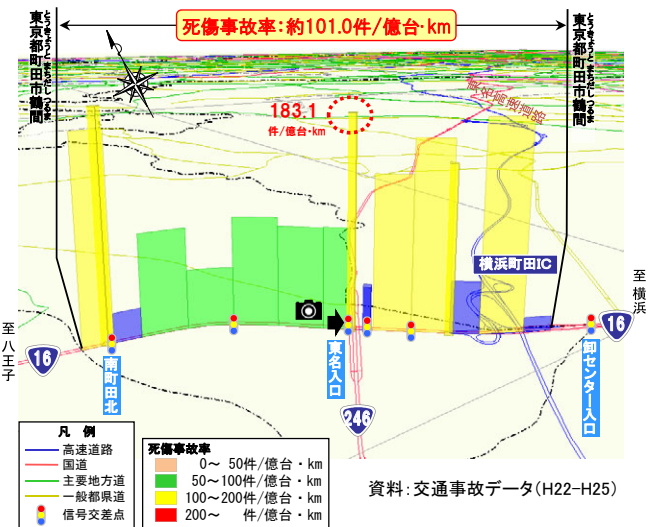


図-2 国道 16 号の死傷事故率



写真-1 南町田北交差点付近の渋滞状況



写真-2 東名入口交差点の渋滞状況

4. 開通の概要

町田立体の本線部は平成 28 年 4 月 24 日（日）午前 6 時に開通しました。町田立体の開通により、開通前は 42,300 台 / 日であった交通量は開通後、一般部において 28,700 台 / 日と 13,600 台 / 日（約 3 割）減少しました。（調査日 開通前：平成 27 年 12 月 1 日（火）、開通後：平成 28 年 5 月 26 日（火））



写真-3 開通後の状況



写真-4 開通後の状況

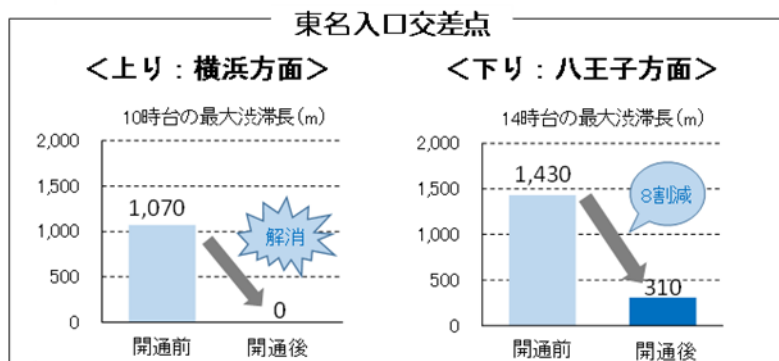
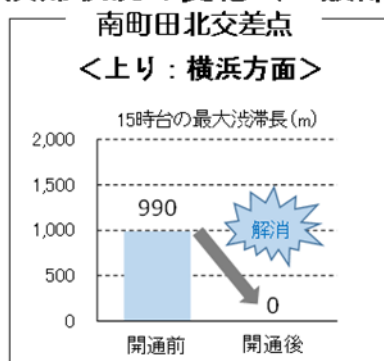
5. 町田立体（本線部）開通による効果（渋滞長）

町田立体（本線部）の開通により、渋滞の名所「東名入口交差点」の渋滞が大幅に緩和しました。東名入口交差点では、上り（横浜方面）の渋滞長が 1,070m から 0m に解消、下り（八王子方面）の渋滞長は、1,430m から 310m に減少しています。また、南町田北交差点においても、上り（横浜方面）の渋滞長が 990m から 0m に解消しており、東名高速道路横浜町田 IC 等へのアクセス性が向上しました。



図-3 平面図

○渋滞状況の変化（一般部）



※昼間12時間での最大渋滞長（一般部）を表示
 ※開通前：平成 27 年 12 月 1 日（火）
 開通後：平成 28 年 5 月 26 日（火）

6. 町田立体（本線部） 開通による効果（所要時間の短縮）

町田立体（本線部）の開通により、国道16号及び周辺道路の渋滞が緩和したことで移動性が向上しています。

南町田北交差点から横浜町田 IC までの所要時間は、開通前は9分かかっていましたが、開通後は3分に6分短縮しました。また、上川井インター交差点から南町田北交差点までの所要時間も開通前の12分から6分に短縮しています。

なお、国道16号に並行する八王子街道や町田街道の交通量は、開通前と比較すると各路線とも約2,100台/日減少しており、生活道路に迂回していた交通の転換が図られ、安全性の向上が見込まれます。

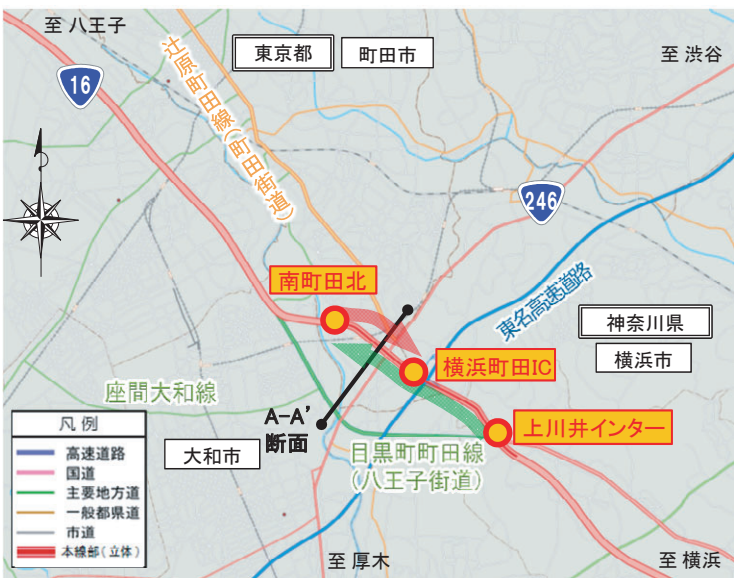
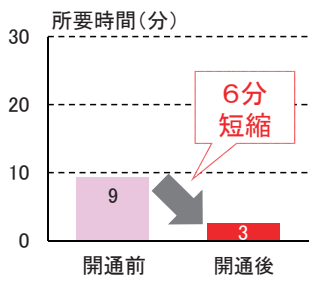
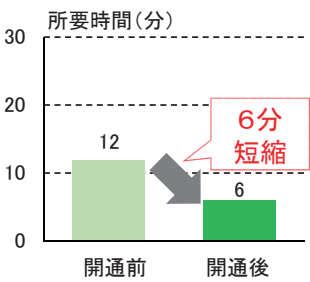


図-4 平面図

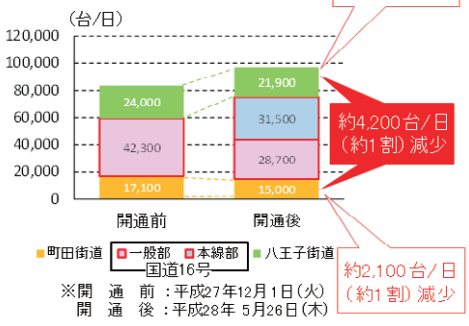
■南町田北交差点から
横浜町田ICまでの所要時間
＜上り：横浜方面＞



■上川井インター交差点から
南町田北交差点までの所要時間
＜下り：八王子方面＞



○周辺道路の変化（交通量）
A-A' 断面



7. まとめ

国道16号町田立体（本線部）の開通により、周辺道路の交通渋滞の緩和が確認できました。また、地域住民からも、国道246号との交差点（東名入口交差点）などで渋滞が緩和されたとの声も頂いています。

引き続き、開通による効果の検証を行うとともに、東名高速道路横浜町田 IC と直結するランプ部の開通に向けて、事業を進めてまいります。